

第1回 四万十川流域治水協議会 議事概要

●第1回 四万十川流域治水協議会

- ・日 時：令和2年8月19日(水) 13:30～14:30
- ・場 所：中村河川国道事務所別館2F会議室
- ・出席者：宿毛市長（代理）、四万十市長、中土佐町長（代理）、梶原町長、津野町長（代理）、四万十町長、三原村長、高知県危機管理部長（代理）、高知県土木部長（代理）、中村河川国道事務所長、渡川ダム統合管理事務所長
- ・事務局：中村河川国道事務所、高知県土木部河川課

●開催状況



●議事

- ・協議会の設立趣旨、規約、「流域治水」及び「流域治水プロジェクト」の考え方、協議会での検討事項と今後の進め方及び四万十川流域治水プロジェクト（素案）について審議した。また、他河川での対策事例等について共有した。

●主な意見

□四万十市

- ・未整備の民有林は砂漠状態となっており、山に降った雨がダイレクトに川へ流れ込むなど、山の保水力が大幅に落ちている。時間がかかるが山の手入れを根本的に行うのも1つの手段ではないかと思う。
- ・以前は砂防ダムが土砂や倒木を止めていたが、現在、殆どの砂防ダムは土砂で満杯になっており倒木は全部乗り越えてくる。堆積土砂の撤去が出来れば有効だと思う。
- ・四万十市は内水被害が多い。渡川水系河川整備計画における内水対策について実施をよろしく願いたい。

□梶原町

- ・最近豪雨災害が甚大であり風倒木が増えている。洪水で風倒木が橋梁等に流れつき、川をせき止めることにより大きな災害を引き起こすのではないかと。梶原町だけではなく、他でも風倒木の被害が多くなっていると思うので整備事業を考えていただけないか。
- ・昭和30年頃に施工した県道において、谷を埋めて盛土した箇所へのヒューム管が埋まってしまい、道路の洗掘被害等が生じている。ヒューム管の改修等、防災対策が実施出来ないか検討いただきたい。

□四万十町

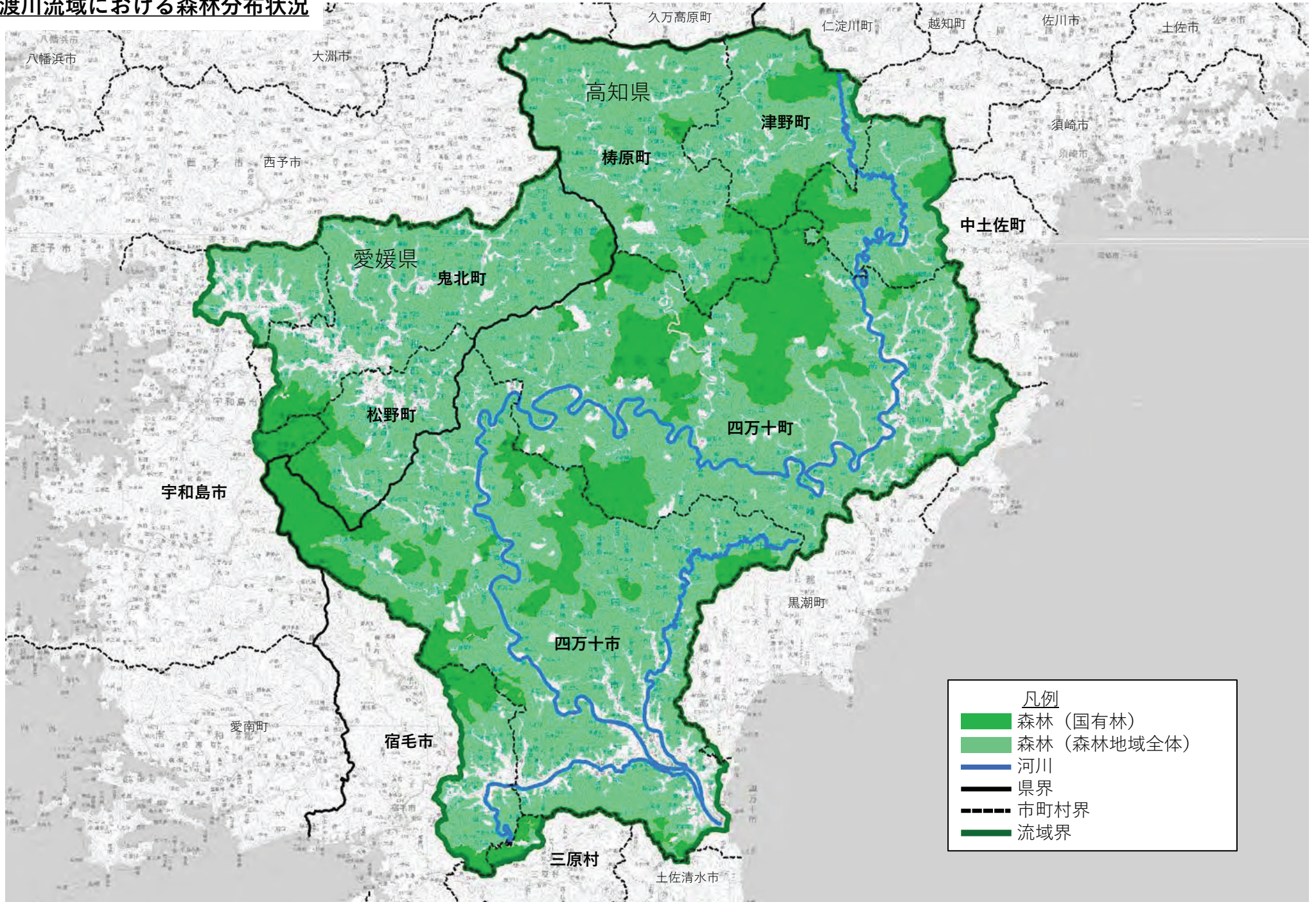
- ・本協議会について非常に心強く思っている。しっかりと情報共有しながら住民の財産、安全を守るという観点で取り組んでいきたい。
- ・流域全体で内水等による浸水被害を軽減する手立てをアドバイスいただきたい。
- ・今後の洪水は降雨強度が高くなるため、発生した場合に堤防が実際に耐えることが出来るか心配である。

□三原村

- ・本協議会は三原村としても協力しながら頑張っていきたい。

渡川流域における森林分布状況

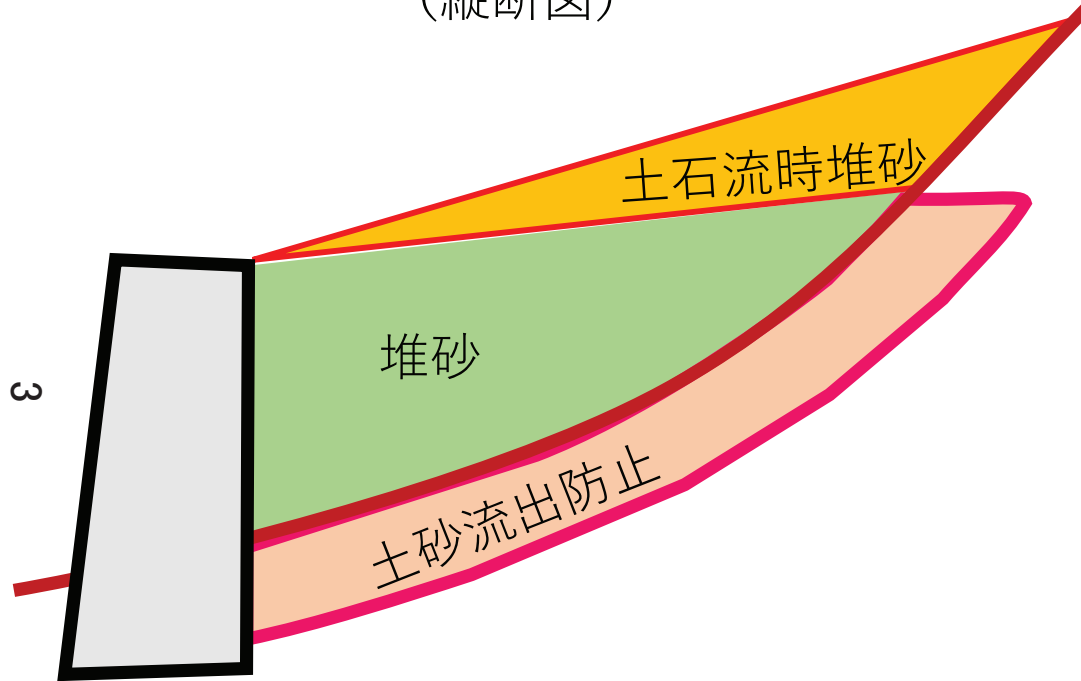
2



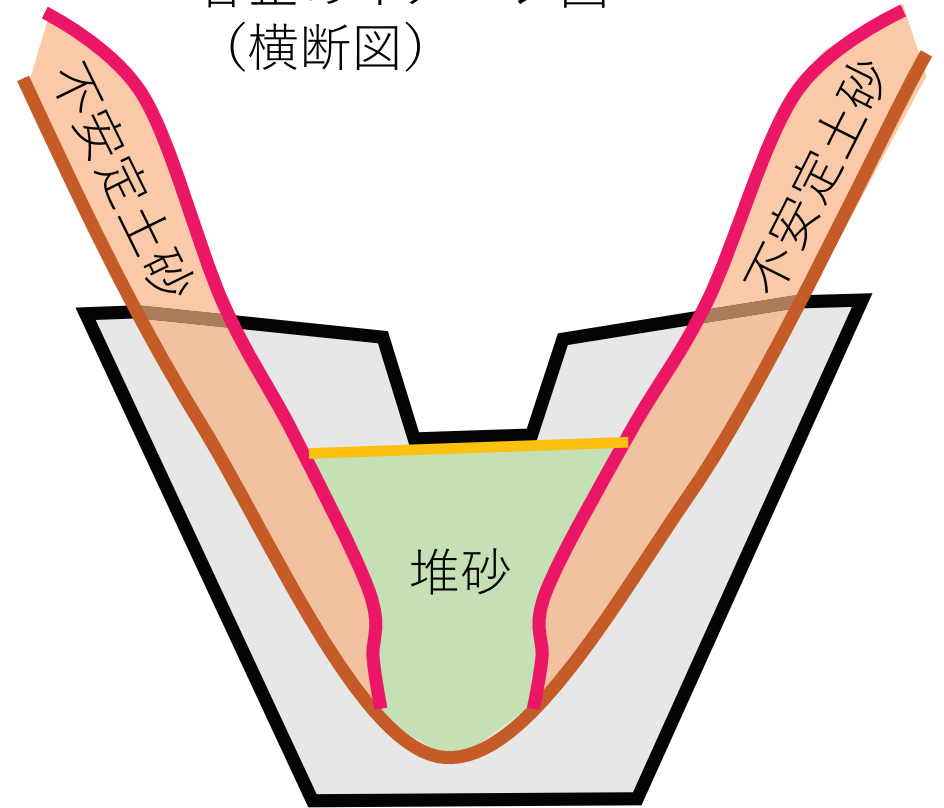
※出典：国土数値情報 森林地域データ 平成27年度

砂防堰堤などのイメージ

砂防堰堤イメージ図
(縦断図)



谷止めイメージ図
(横断図)

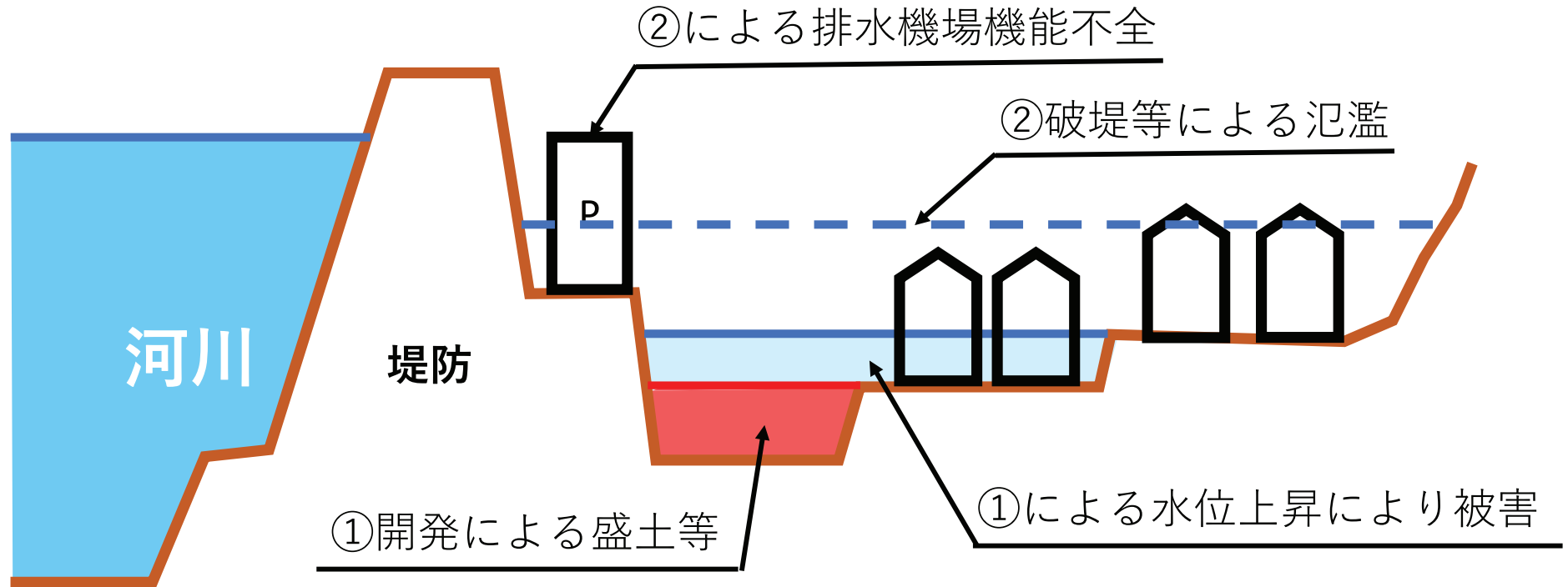


堆砂により山脚固定
縦断勾配も緩くなり浸食防止

※堰堤の機能及び設計条件によっては、堆砂除去してはいけない場合あり

内水対策について

4



①開発による盛土等の影響による水位上昇を防止するため、及び河川氾濫時の遊水池確保のため土地利用規制等の規制が望ましい。

②外水氾濫時に排水機場が機能不全とならないよう耐水化が望ましい